

コットンプロジェクトの挑戦

～東北コットンプロジェクトの活動を中心に～

近年、かつての綿産地を中心に、国内での綿花栽培への取組が盛んとなってきており、綿作りから紡績を行い、商品作りにまで挑戦する地域も出てきています。そこで、今回のトークセッションでは、それら国産コットン事業に取り組むグループの交流を進めている、全国コットンサミット実行委員会の方々をお迎えし、実際の綿花栽培の実態や事業化への展開などについてのお話を伺います。全国コットンサミット実行委員会とは、国内での綿花栽培に取り組む人々の交流を目的に設立された組織で、東日本大震災の復興支援への取組として話題の東北コットンプロジェクトへの取組も支援しておられます。今回はその東北での取組をはじめ、全国での綿花栽培や商品化の苦労話や成果などの具体的なお話を伺うとともに、実際に製造されている商品なども展示いただきます。国産でのオリジナル商品展開を進めるにあたっての一つのヒントを提供するセミナーです。奮ってご参加ください。

1部 「東北コットンプロジェクトについて」

東北コットンプロジェクト事務局代表 (株)クルック 江良 慶介氏

2部 「全国各地のコットンプロジェクトについて」

全国コットンサミット事務局 大正紡績(株) 浅田 大輔氏
 タビオ奈良(株) 島田 淳志氏
 大阪産業経済センター 松下 隆氏



日時：11月6日（火曜日）18：00～19：30（講演会）
 19：30～20：30（交流会）

場所：りそな銀行本店地下レセプションホール（大阪市中央区備後町2-2-1）

参加料：1,000円

定員：200名

●プレゼント●

今年採れたてのコットンボール（綿の種付）



東北コットンプロジェクトについて

東日本大震災により塩害被害にあった農地において、耐塩性の高い綿花の栽培を行うことで農地再生及び雇用創出を図り、復興支援を行うプロジェクト。農家からアパレル企業までがチームとなり、原料栽培から製品販売までを行っている。初年度はデニムやポロシャツ、タオルなどを販売している。

全国コットンサミットについて

全国の綿花栽培を手がける人々の交流の場として、毎年全国コットンサミットを開催している。第1回は平成23年5月に大阪府岸和田市で開催され、今年10月には鳥取県境港市で第2回が開催された。参加メンバーは、北海道、本州各地の綿花栽培に取り組むグループで、現在10数グループとなっている。多くは、企業参加型で、商品開発に取り組んでいる。



お申し込み

<http://senbatj.com>

お問い合わせ

せんば適塾事務局 関西ファッション連合 西田
 (nishida@senbatj.com 06-6228-6525)